

図研エルミック株式会社 会社紹介

(東証第二部：コード4770)



IP security *Automobile*
Industrial

2015年5月27日

代表取締役社長 朝倉 尉

会社紹介



社名	図研エルミック株式会社	
設立	1977年4月30日	
資本金	1,202,036,093円 (2015年3月31日現在)	
事業内容	ミドルウェア製品およびシステム・モジュール製品の開発ならびに販売	
従業員数	68名 (2015年3月31日現在)	
事業所	本社 (横浜市港北区新横浜3-1-1 図研新横浜ビル) 大阪営業所 (大阪市淀川区西中島4丁目3番22号 新大阪長谷ビル8階)	
役員	代表取締役会長 代表取締役社長 取締役(事業戦略・開発担当) 取締役(管理本部長) 監査役(常勤) 監査役 監査役	勝部 迅也 朝倉 尉 下条 雅人 江口 慎一 西 伸孝 森尾 稔 木村 廣隆
加盟団体	一般社団法人 組込システム技術協会 IPv6 Ready Logo Program SEMI UPnP Forum ONVIF CAR CONNECTIVITY consortium T-Engine Forum	

- 1977 (株)エルミックシステムを横浜市に設立
- 1983 ELXシリーズ(ELX-86M)販売開始
- 1998 組込専用インターネットプロトコル(KASAGO TCP/IP)販売開始
- 2000 東証マザーズ上場(7月25日)
SEMI規格準拠通信ソフトウェア(SoftCom)販売開始
- 2002 KASAGO IPv6 販売開始
- 2003 国内初 IPv6 Ready Logo 取得
- 2004 SEMI規格準拠通信ソフトウェア(SoftCom GEM300)販売開始
- 2005 ウェスコム社と合併し、エルミック・ウェスコム(株)に
IPv6 Ready Logo Phase-2 取得
- 2006 IPsec 販売開始
- 2007 SIP 販売開始
(株)シーイーシーと業務資本提携
- 2008 (株)図研と業務資本提携
- 2009 (株)図研よりSoC事業部を分割吸収(6月)
社名を図研エルミック(株)に(7月)
IPセキュリティ向けミドルウェア(RTP, ONVIF) 販売開始
セキュリティアダプター(IP-Cipher) 販売開始
- 2010 PC98アーキテクチャ互換システム(INHERITORII) 販売開始
- 2011 ONVIF NVS部ライブラリ(IPrec) 販売開始
LSI向けIP(YAMAME JPEG-XR) 販売開始
IPSec/IKEv2 販売開始
- 2012 Ze-PRO IPrecが日刊工業十大新製品賞 中堅・中小企業賞を獲得
菱洋エレクトロ殿, 東芝情報システム殿, コア殿と販売・サポート提携開始
LSI向けIP(YAMAME TOE Lite / RSA / AES / SHA-1/2) 販売開始
SS無線LANモジュール(Ze-Module WLAN) 販売開始
MirrorLink対応ミドルウェア(Ze-PRO Mirror) 販売開始
ONVIF Profile-S対応ミドルウェア(IPcam-PS, IPmon-PS) 販売開始
- 2013 ECOHNET Lite対応ミドルウェア(ECOH Lite) 販売開始
LSI向けIP(YAMAME UDP/RTP) 販売開始
- 2014 デンセイシリウス殿, エスエスエム殿, クロスキャット殿, 中松商会殿,
アルゴシステム殿と INHERITORII-Aの販売・サポート提携開始
東証市場第二部へ市場変更(8月1日)
ルネサスエレクトロニクス殿と車載Ethernetミドルウェア(EthernetAVB)の
共同開発を開始
JVCケンウッド殿とセキュリティネットワークとFAネットワークを連携させる
ソリューション(ONVIF/CC-Link IE Field GateWay)の共同開発を開始
HTTP Streaming, RTMP対応ミドルウェア(Ze-PRO HSL/RTMP)販売開始
- 2015 生産現場の「見える化」を実現するONVIF/CC-Linkゲートウェイソリューション
評価キット(Ze-PRO F/S EVA)販売開始
ファイル共有プロトコル(KASAGO CIFS)販売開始
車載向けEthernet AVB対応ミドルウェア(Ze-PRO AVB)販売開始

“ つなぐ・ながす ” 先端ネットワーク技術を「素材」に変えて提供します。

IPセキュリティ分野

ネットワークビデオ監視システム向け、ONVIF準拠ライブラリを中心にあらゆる機器間でのストリーミング配信に必要とされる環境や技術を提供しています。



つなぐ
ながす
Middleware

車載通信分野

MirrorLinkライブラリを中心にコネクテッド・カーで必要とされる環境や技術を、またEthernetAVBなど車載ネットワーク向けの技術を提供しています。



産業分野

産業ネットワーク・IoTに向け、イーサネット技術を核としたネットワーク技術や環境、ならびに様々なネットワークを繋げるGateWay技術や環境を提供しています。

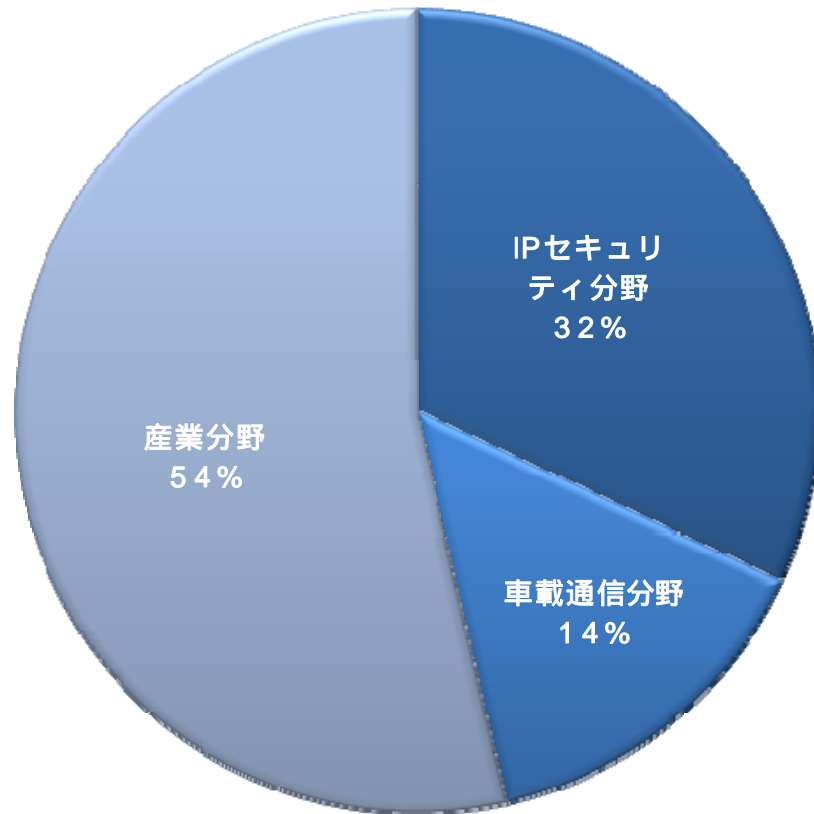


業績概要

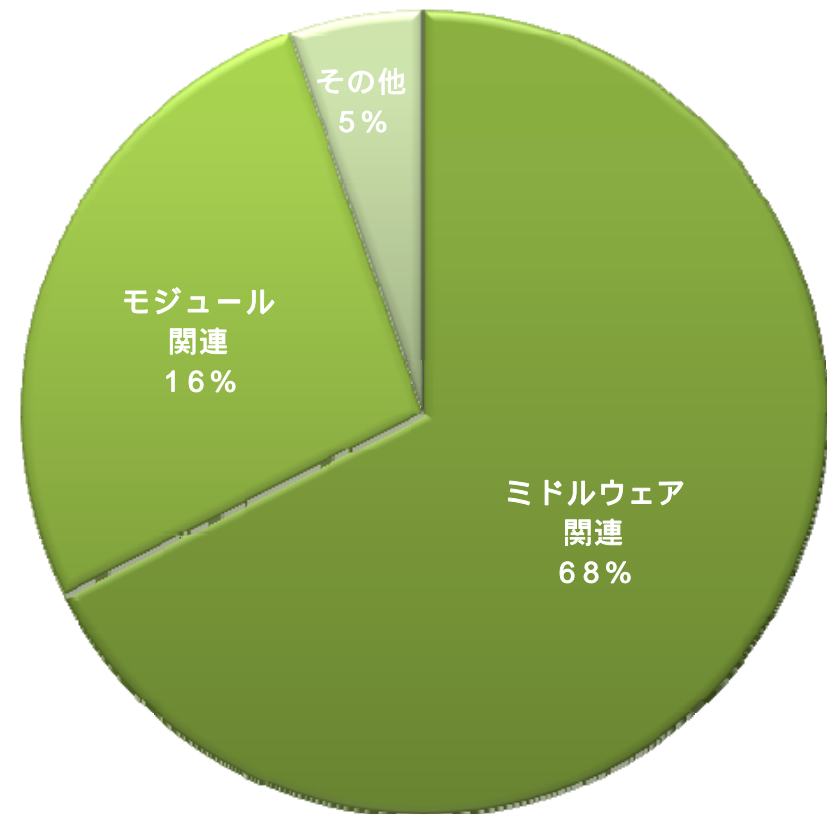


38期	実績	前年同期比
受注高	1,015	165
売上高	1,058	217
売上総利益	579	+6
販管費	565	+7
営業利益	14	1
経常利益	14	1
当期純利益	7	14

- 営業利益・経常利益・当期純利益とも黒字を確保。
- 利益率の低い、LSI設計事業からの撤退により受注高・売上高が減少。
- ミドルウェアを中心とした高利益率ビジネスに注力し、売上総利益が改善。
- 研究開発費の増加により販管費が増加。
- 前年度特別利益(役員退職慰労金返還など)による影響が無くなり、純利益が減少。

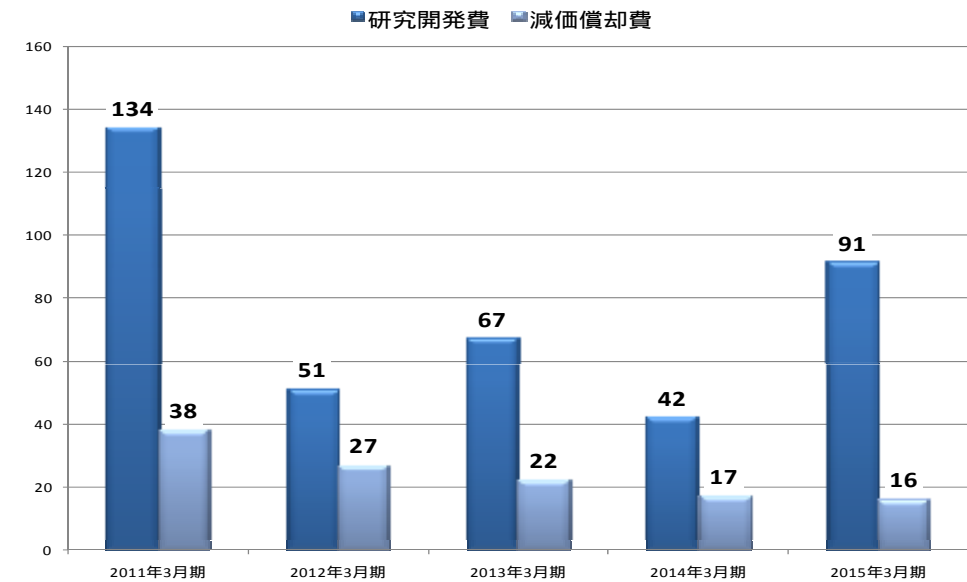
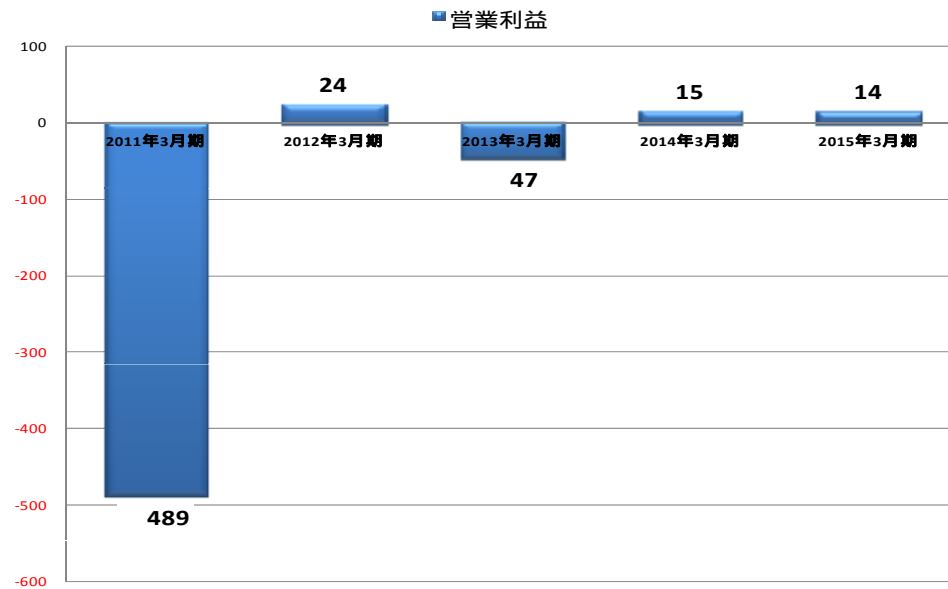
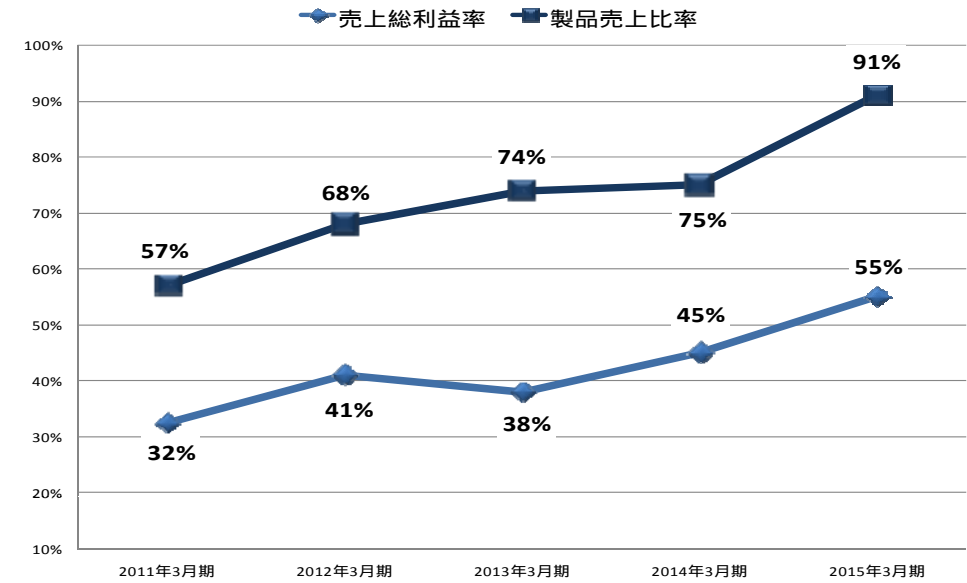
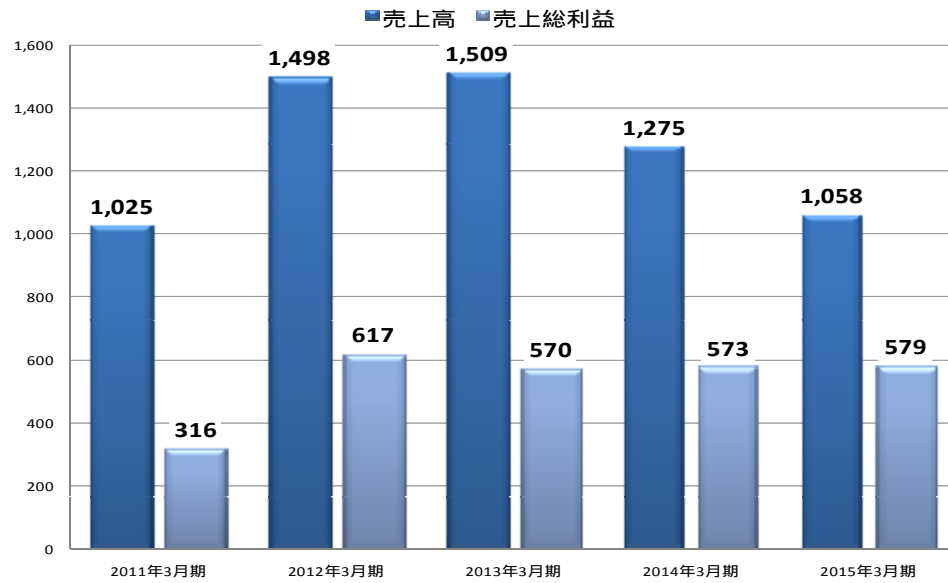


ターゲット市場別比率

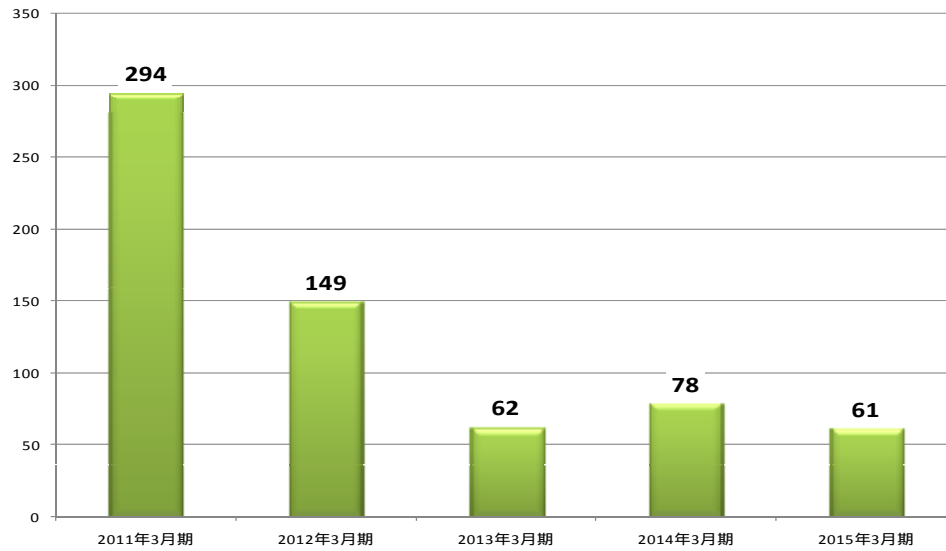


製品区分別比率

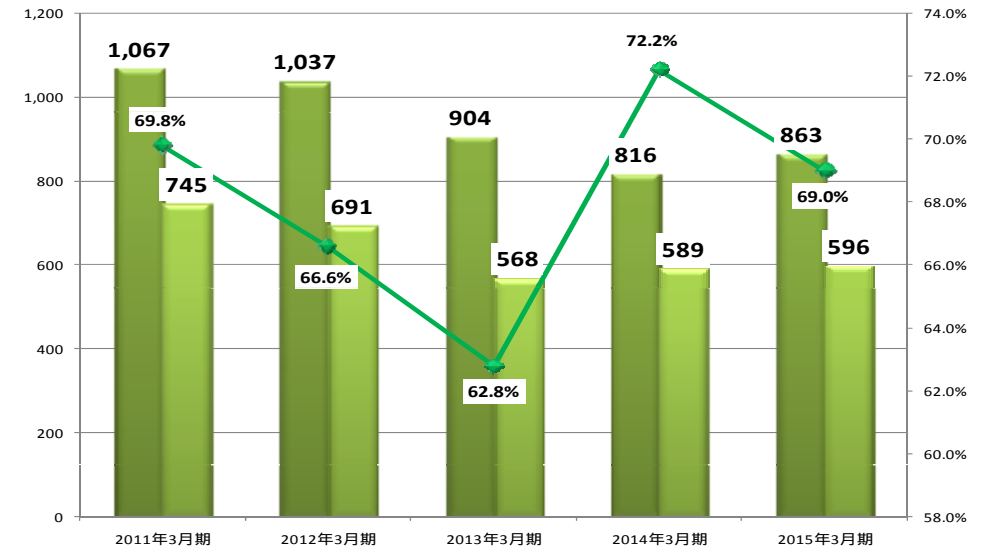
財務概要1



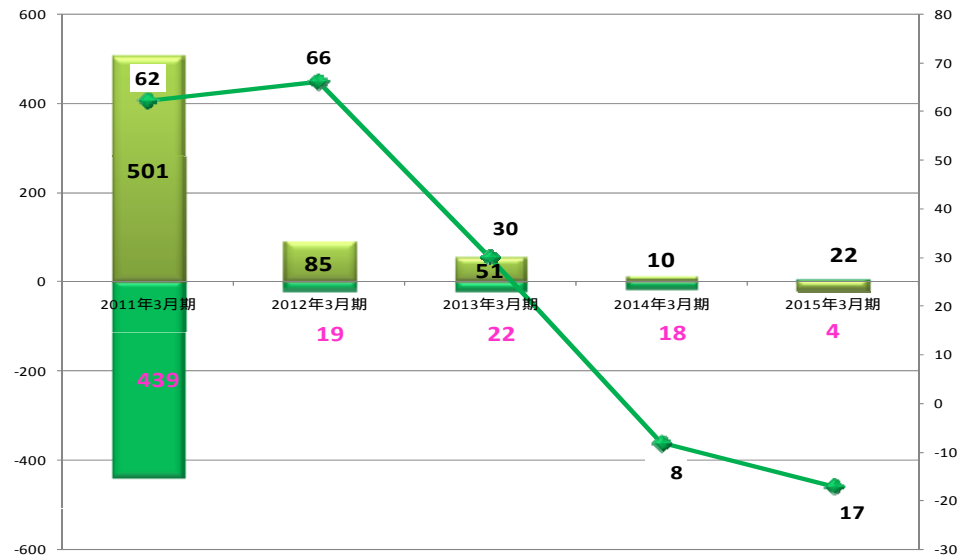
■ 固定資産



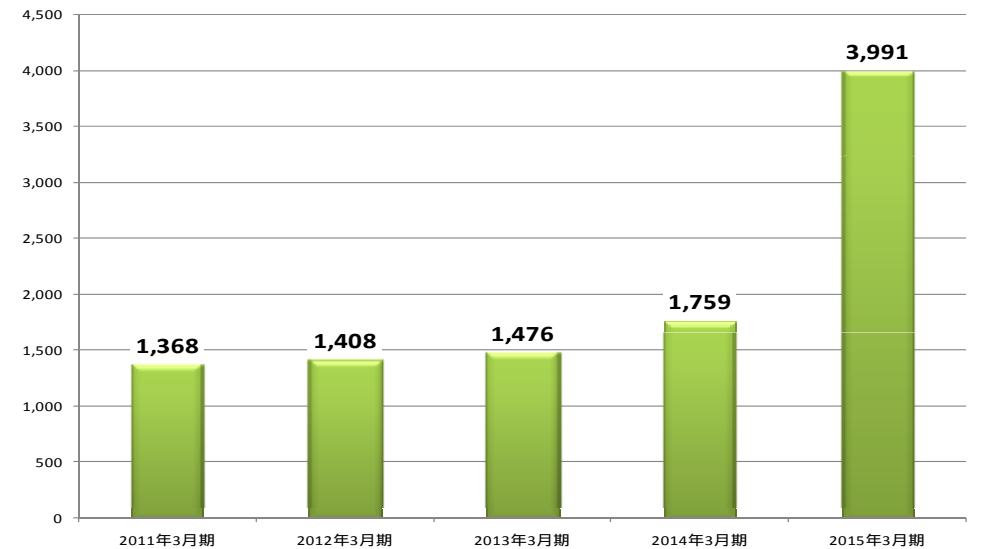
■ 総資産 ■ 自己資本 ◆ 自己資本比率



■ 営業活動によるCF ■ 投資活動によるCF ◆ FCF



■ 株主数






ターゲット分野別取組み

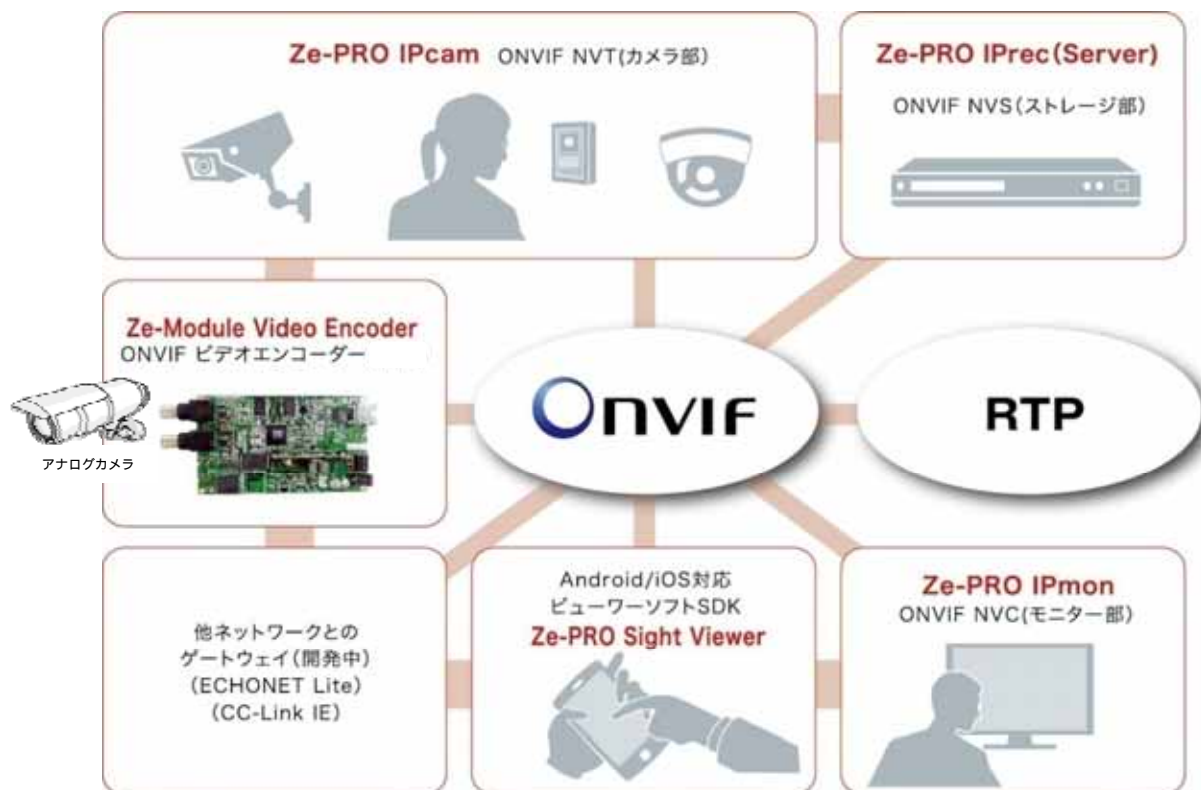


ターゲット分野別 主要製品



	 IPセキュリティ分野	 車載通信分野	 産業(FA)分野
ライブラリ 製品	ONVIF NVT/NVC/NVS	Mirror Link	ECHONET Lite
	ONVIF Viewer	Miracast	Softcom
	HTTP LS	EthernetAVB	ONVIF/CC-Link Gateway
	RTMP		
	TCP/IP IPv4/IPv6 (KASAGO), IPsec, SIP, RTP, FileSystem, CIFS		
	LSI IP(YAMAME) JPEG-XR, TOE Lite, AES, UDP, RTP, RSA, SHA-1/2		
モジュール 製品	ONVIF Encoder Module		WLAN Module
			シリアル通信Board
			ISDN通信Board
			PC98互換System
			Gateway評価Kit

あらゆる機器にカメラが搭載され、ストリーミングを自由にやり取りする環境の実現



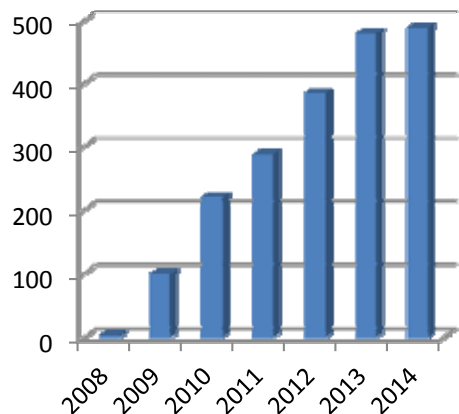
汎用Streaming Solution

様々な場所やシーンで、既存の様々なデバイスからインターネットを通じ簡単に動画を送る、見るためのソリューション(HTTP Live Streaming, RTMP, RTP)を提供。

ONVIF Solution

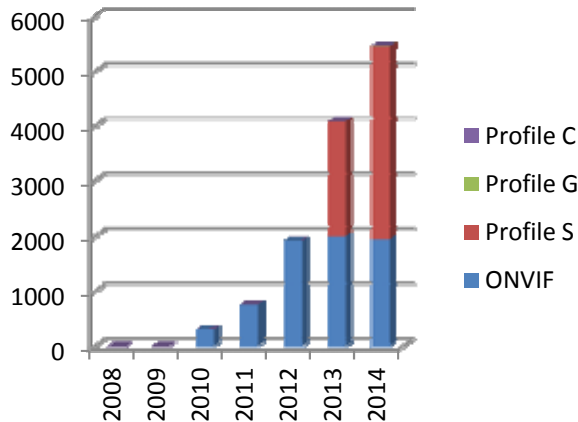
異なるメーカーのネットワークビデオ監視システムを相互接続するためのグローバル・デファクトスタンダードであるONVIF規格に準拠した様々なソリューション(カメラ, レコーダ, モニタ, スマホ向け)を提供。

グローバル・デファクトスタンダードであるONVIF規格の追従と付加価値機能の追加



ONVIFメンバー数

2014年9月時点で488社。
NWビデオ監視市場の72%の企業が参加。



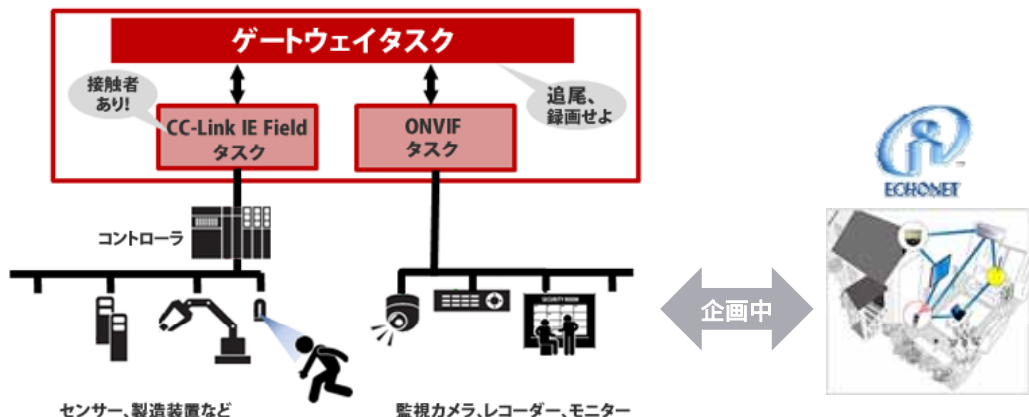
ONVIF対応製品数

2014年9月時点でProfile対応が3513製品、
その他が1938製品。

年率20%程度の成長を続けている
ネットワークビデオ監視システム市場において
グローバル・デファクトスタンダードとなった
ONVIF規格に準拠した製品を、先行的に提供し、
この市場における当社競争力を一層強化する。
また、他社との技術連携により、付加価値のある
製品の強化を図る。

- ONVIF Profile Q対応製品のリリース
- RTPライブラリの4K/8K対応
- 画像認識などで他社と技術連携

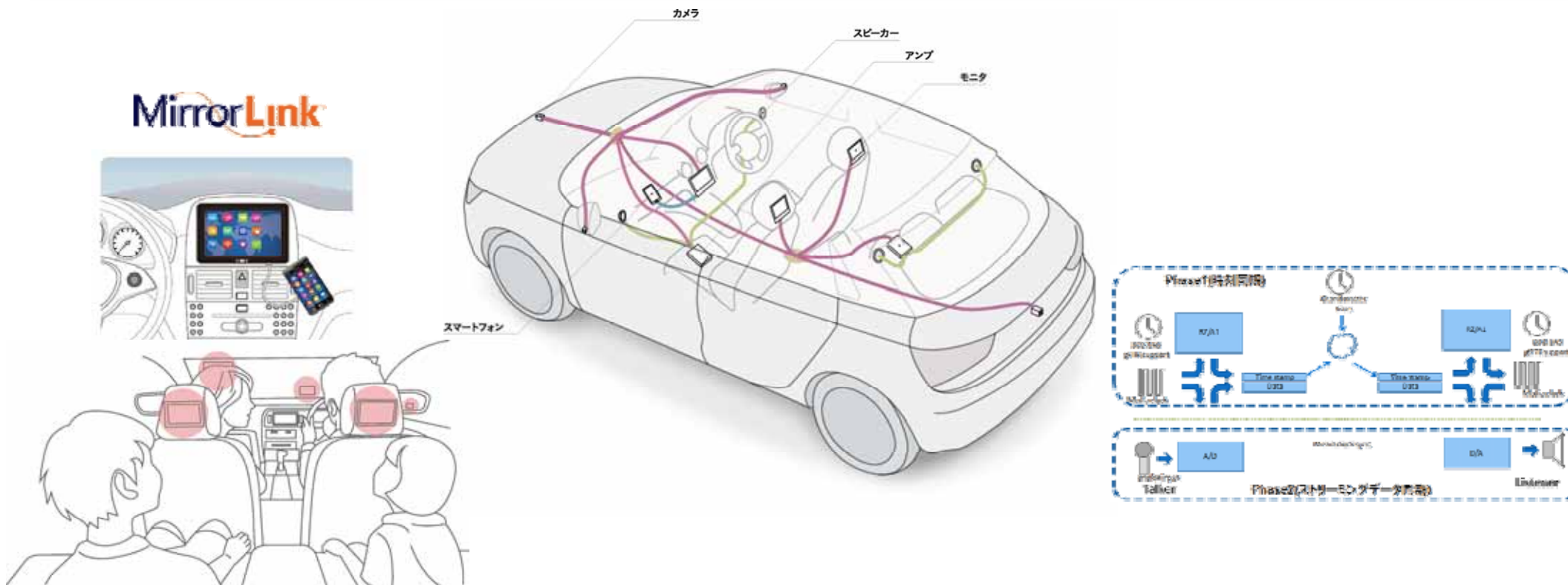
監視システム以外のネットワークとの連携による新しい付加価値の創造と市場拡大



工場の制御ネットワークやホームネットワークなど、
既存の様々なネットワークと監視システムの
ONVIFネットワークを連携・連動させることで
新たな付加価値を創造し、監視システムメーカー
以外の新しい顧客層の開拓を図る。

- CC-Link IE Field GateWay対応製品リリース
- 当社ECHONET Lite対応製品との連携(企画中)
- ビル管理・入退出管理システムとの連携(調査中)

コネクテッド・カーの普及に向けた車載ネットワーク技術の提供



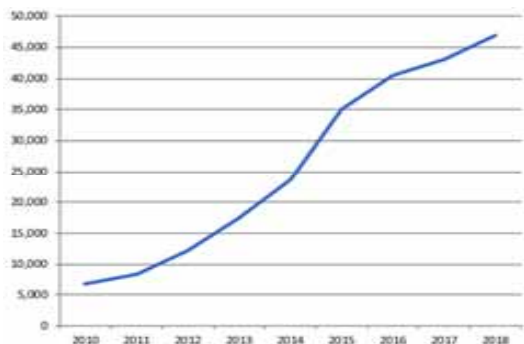
MirrorLink Solution

CCC (Car Connectivity Consortium)によって策定された車内環境に最も適した形で、車載ディスプレイとスマートフォンを双方向でつなく通信規格MirrorLinkの車載ディスプレイ側を実現するための製品を提供。

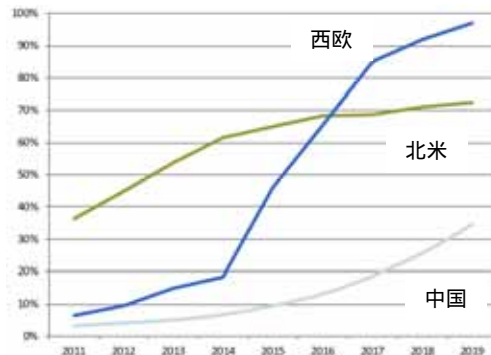
EthernetAVB Solution

車載ネットワークの高速/大容量化への要求を背景に、外部の機器やサービスとの連携も視野に入れたイーサネットというオープンな環境の検討が本格化。その候補であるEthernetAVBに対応した製品を提供。自動車の配線をシンプルにして車体重量が減らせるだけでなく、時刻同期機能や通信帯域予約機能で遅延を抑え、高品質な視聴環境を実現。

新しい車載ネットワークに向けた製品開発の加速と規格の追従



コネクテッド・カー販売台数
2018年に4,600万台に成長。
(画面複製技術応用の割合は2018年に
33% 1,500万台)

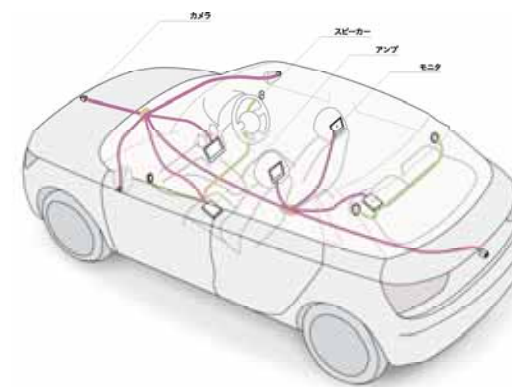


コネクテッド・カー対応率
欧州におけるコネクテッドカー市場は
2014年から急速に拡大。

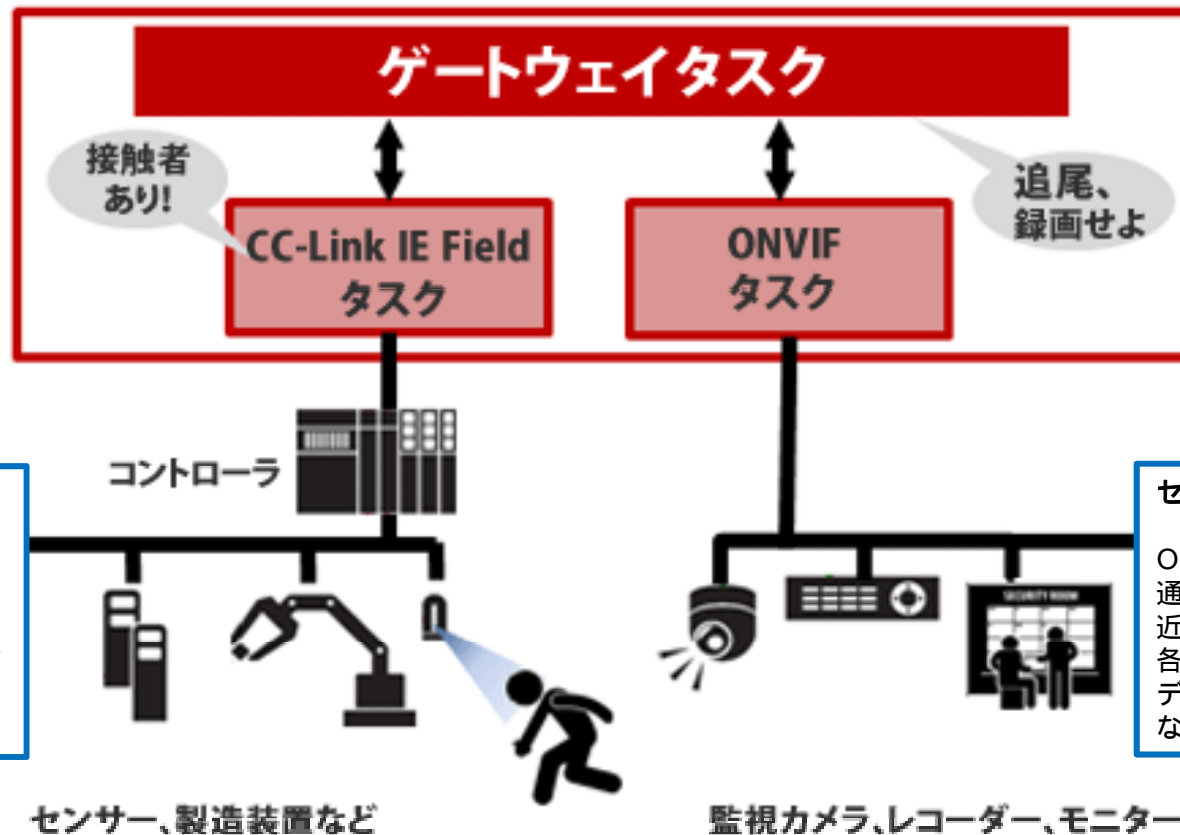
インターネットと連携するコネクテッド・カーの増加などに伴い、車載ネットワークの高速/大容量化の要求が今後ますます強まることを背景に、イーサネット技術の検討が本格化。シンプルな配線で車体重量が減らせるだけでなく、時刻同期機能や通信帯域予約機能で遅延を抑え、高品質な視聴環境を実現できるEthernetAVBは有力な候補。

EthernetAVB対応製品を先行的にリリースし、また将来の本格採用に向けて実施される各メーカーでの研究開発や試作開発に向けた評価環境などを提供し、車載通信分野における当社ビジネスの拡大を図る。

- EthernetAVB対応製品リリース
- EthernetAVB評価環境リリース(検討中)
- 各社デバイスへの対応拡大



監視システムネットワークとFA制御ネットワークをつなぎ、新しいニーズを創造



FAネットワーク : CC-Link IE Field

CC-Link協会が提唱している、イーサネット技術をベースにした制御ネットワークプロトコルの1つ。CC-Linkは、日本国内での採用実績が多く、生産ラインのみならずビル管理などにおいても採用。

セキュリティネットワーク : ONVIF

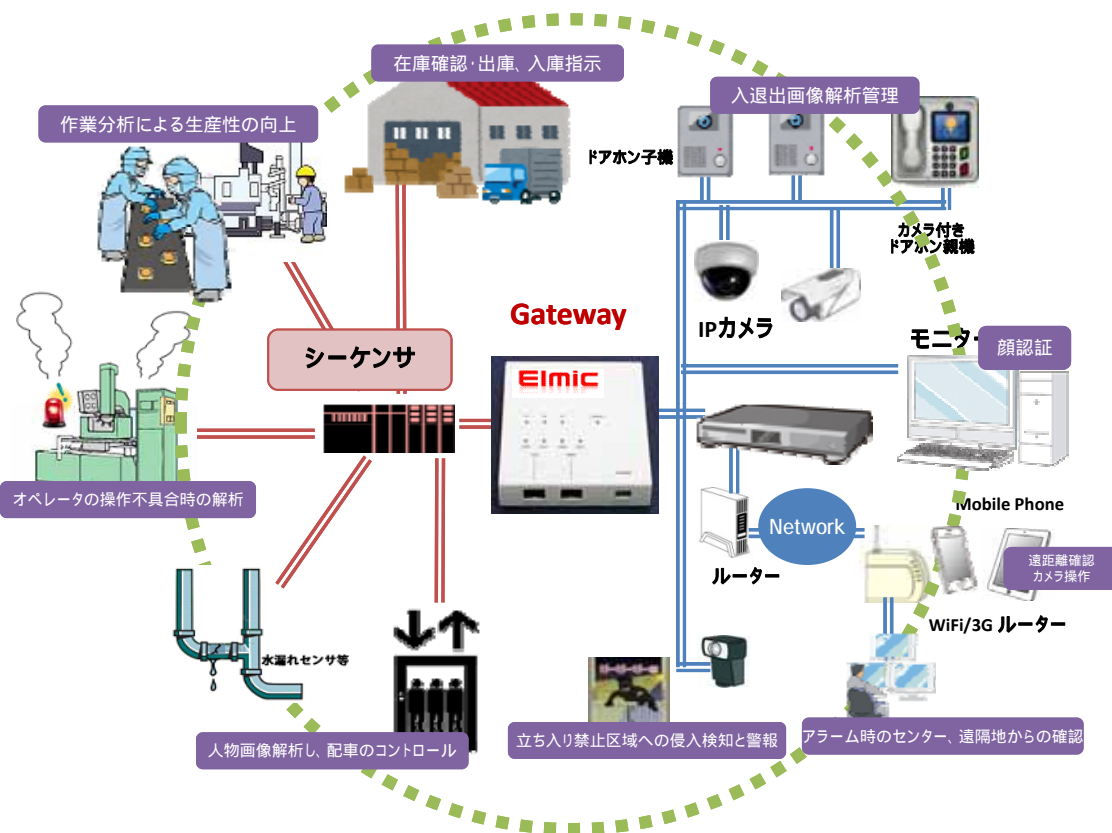
ONVIFが提唱している、IP監視システムの通信を標準化した通信方式。近年ONVIF準拠の数多くの製品が、世界各国で販売されており、IP監視システムのデファクトスタンダードの通信方式となっている。

ONVIF / CC-Link IE Field GateWay Solution

ONVIF対応のセキュリティ機器を、CC-Link IE Fieldで制御されている工場内の製造装置やセンサー、制御装置と連携・連動させ、工場内の「安心、安全」につなげるためのゲートウェイ技術。

JVCケンウッド殿や三菱電機殿と協力し、2つのネットワークをつなぐ製品ならびに評価環境を提供。

制御ネットワークを連動させるGateWay製品で新しい市場とニーズの創造を加速



ネットワークビデオ監視システムのONVIFと、制御ネットワークを連動・連携させ、高度な監視・解析ニーズの対応や安心・安全を高めるニーズへの対応など、新たな付加価値を創造し、新ビジネスへ成長させる。

組込ソフトウェア分野とは異なる顧客層へのビジネス展開が可能となるため、当社のビジネス領域・顧客層の拡大を図る。

また、ONVIFと既存の様々なネットワークを連動・連携させることで、更なるビジネス領域・顧客層の拡大を図る。

- ONVIF/CC-Link IE Field GW対応製品リリース
- ONVIF/CC-Link IE Field GW評価環境リリース
- 当社ECHONET Lite製品との連携(検討中)

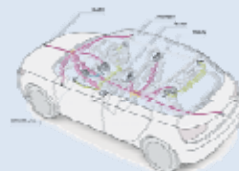
IPセキュリティ分野

ONVIFを中心とする
ストリーミング技術・製品を
先行的に開発・リリースし、
優位なビジネスを拡大する



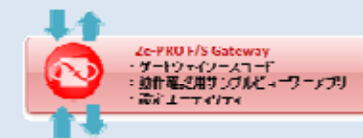
車載通信分野

EthernetAVBを中心とする
車載ネットワーク技術・製品に
注力し、
新たなビジネス分野に成長させる



産業分野

GateWayを中心とする
ネットワーク連携・連動の
技術・製品に注力し、
新たな顧客層の拡大を図る



ミドルウェア製品・モジュール製品に特化し、利益率の高いビジネスを展開



平成29年3月期での売上高20億円、営業利益率10%以上の実現を目指す

- ご注意 -

本プレゼンテーション資料および図研エルミック代表者が口頭にて提供する情報には、当社の現時点における期待、見積りおよび予測に基づく記述が含まれています。これらの将来の事象に係る記述は、当社における実際の財務状況や活動状況が、当該将来の事象に係る記述によって明示されているもの又は暗示されているものと重要な差異を生じるかもしれないという既知および未知のリスク、不確実性その他の要因が内包されています。